NOKYO SHIKA

人は意識









7月8日 能登すいか初出荷

第55回通常総代会の開催結果について

通常総代会特集号



代表理事組合長 新 谷

克

己

暑中お見舞い申し上げます。

げます。 い時期ではありますが、組合員の皆様 には益々ご健勝のこととお喜び申し上 盛夏の候、 コロナ禍という大変厳し

別のご理解・ご協力をたまわり、 御礼申し上げます。 併せて、平素よりJA事業に対し格 厚く

よりお見舞い申し上げます。 もたらしており、被災地の方々には心 地方を皮切りに各地域に甚大な被害を また、直近の7月豪雨に際し、九州

ます。 各位のご協力に対し深く感謝申し上げ されましたが、全議案承認となり総代 書面議決を基本とした開催を余儀なく にあっては、コロナ禍という時節柄 さて、先に開催の第55回通常総代会

組合員ならびに生産農家の減少や長引 余金処分を提案することができまし 的積立金の取崩しにより例年並みの剰 最終的に当期損失となりましたが、目 産の減損処理など特別損失計上により 上回る経常利益確保の一方で、 とりわけ令和元年度決算は、 しかしながら、少子高齢化に伴う 固定資 計画を

> 層の創意工夫が必要となっています。 も相俟って農業・JAを取り巻く環境 は引き続き厳しいものがあり、より一 然災害の発生に加え、新型コロナ問題 く超低金利政策、 毎年の異常気象や自

店舗統廃合による新たなJA像

度中にも統廃合が実現する予定です。 備・建物の部分改修を行い、令和3年 賀農機センターの移転後に本店構内整 店舗構想を基本に、現在建設中の新志 支店(仮称、本店内)、富来支店の3 出しており、将来的に本店および中央 土田地区)管内の6支店統廃合を打ち 度~3年度)」の中で、旧志賀町(志賀・ して、昨年の総代会にてご承認いただ いた「第5次中期3か年計画(令和元年 この難局を乗り切るための一方策と

収益性・効率性のみならず十分な組合 り時代の流れとはいえ、近くの支店が 員サービスの観点からも限界にきてお 数で小規模支店を運営し続けるには、 でありますが、 ご不便には申し訳ない思いでいっぱい 無くなることに対する皆様のご不満・ に比べ10年以上の遅れをとった感もあ 当JAの店舗統廃合問題は他のJA わずか100人の職員

大所高所からのご理解を求める次

としています。 め細かい組合員サービスを目指すこと の適正な要員配置により従来以上のき ケースに比べれば条件も良く、統合後 の最寄り支店まで30分もかかるような 外の近距離にあり、他のJAで統合後 店も本店(仮称中央支店)から10分内 当JAにあってはいずれの支

地域農業振興に向けた JA自己改革の継続

て、 総合事業を通じて組合員の豊かな暮ら 創造的自己改革を継続する中で、各種 基本目標にブランド力向上や複合経営 すが、JAは地域農業の維持・振興を 剰感による価格下落が予測されていま 迎えます。今年産の水稲は早くから余 かれると「食糧難」という非常事態を いがしろにする国は一旦貿易制限が敷 さが懸念されており、自国の農業をな しをサポートしていく所存です。 による農業者の所得増大に取組むなど 今般のコロナ禍における一面 改めて国内農畜産物の自給率の低 とし

ご挨拶とさせていただきます。 様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げ 導・ご鞭撻をお願いするとともに、皆 であり、組合員の皆様の変わらぬご指 役員体制が決定しスタートしたところ 選任され、その後の組織理事会で常勤 折しも、先の通常総代会で新役員が

員外監事

高山

(非常勤

役員のご紹介

【理事 19名】

代表理事組合長 理 常務理事 常務理事 事 事 事 新谷 吉野 岡塚 藤田 高井 稲岡 時夫 忠浩 克己 (非常勤) (非常勤) (非常勤) (非常勤) (常 (非常勤 常常 常常 勤 勤

理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 大石

守

(非常勤)

(非常勤

幸地 谷山 前田 蟹屋敷政和 (非常勤) (非常勤)

安田 朗 (非常勤) (非常勤)

谷口和喜夫 (非常勤) (非常勤)

(非常勤

山本 古川 (非常勤 (非常勤

理

事

理 理 理

理

事

[監事 5名]

代表監事 田頭 嶋中不二雄 島田多加夫 善彦 (常 (非常勤

勤

小橋 敦郎 (非常勤 (非常勤)

監 監

事 事

『農業と地域に根ざし、 地域社会と共存する JAをめざして』



第55回 総代会開催



JA志賀の第55回通常総代会は、新型コロナウイルスの感染拡 大防止の観点から、総代の皆様に書面決議による議決権行使をお願 いし、6月27日(土)午前10時より志賀町文化ホールで開かれま した。

総代数520名のうち、517名(本人出席13名、議決権行使504 名) の出席により会議が成立し、新谷組合長の開会挨拶の後、議長 に細川一元総代(中甘田地区)を選任し、議案の審議に入りました。

慎重なる審議の結果、令和元年度の事業報告及び剰余金処分案の ほか、上程された全議案が原案通り可決・承認されました。

①令和元年度貸借対照表、損益計算書、注記表:

【報告事項

第11号議案

役員の選任の件 労金支給の件

退任理事及び監事に対する退職慰

第10号議案 第9号議案 第8号議案 第7号議案

第6号議案 第5号議案

農地利用集積円滑化事業規程の廃

農業経営規程の一部変更の件

理事及び監事の報酬に関する件 監事監査規程の変更の件 止の件

信用事業規程の一部変更の件

第4号議案 第3号議案 更の件 定款附属書総代選挙規程の一部変 定款の一部変更の件 第2号議案 第1号議案 令和2年度事業計画の設定の件 令和元年度事業報告及び剰余金処 分案承認の件

審議事項

第 55 回 通常総代会提出議案

②「株式会社JAアグリサポートしか」令和元年 度事業報告及び令和2年度事業方針について

附属明細書並びに独立監査人及び監事の監査

報告について

令和元年度事業報告 令和2年3月3日まで

年号が令和に改まり、組合事業も第5次中期3か年計画の初年度としてスタートしましたが、アベノミクてスタートしましたが、アベノミクスが腰折れとなるなか、猛暑、台風等の自然災害や一向に出口の見えないマイナス金利政策等が相俟って、国内景気は徐々に失速し始めました。加えて、年明け以降の新型コロた。加えて、年明け以降の新型コロた。加えて、年明け以降の新型コロた。加えて、年明け以降の新型コロた。加えて、年明け以降の新型コロた。加えて、年明け以降の新型コロた。が受と先行き不透明感を強めることと段と先行き不透明感を強めることと

しい1年となりました。
沢悪化など、農産物全般にとって厳スイカで関東地方の長梅雨による市系がで夏場の高温障害等による落等、

でも組合員、生産者の減少による取ても組合員、生産者の減少による取扱高の減少や長引く超低金利政策に 場下にあり、持続可能な経営基盤確 境下にあり、持続可能な経営基盤確 立を目指し、支店の統廃合に向けた 立を目指し、支店の統廃合に向けた

用者の皆様のおかげによりまして、損益につきましては、組合員・利

ました。

継続実施など利用率向上に取組むと

の損失となりました。 税引き前において45,857千円Aコープの除却損、減損損失により千円という結果でありましたが、旧経常利益については、55,674

の概要についてご報告致します。ここに第55年度における主要事業

信用事業

便利なメインバンク機能向上を目指 よる貯金高減少が目立った年となり とができましたが、 取組んだ結果、個人貯金は伸ばすこ ク契約を付帯し、これらを核として 獲得と年金口座の獲得にネットバン では高金利対応で募集を実施、 金定期貯金」および「年金定期貯金 よび農業資金の低金利提供、「退職 宅・マイカー・教育等各種ローンお 現」に向け、信頼の確保や、 とされ選ばれるJAバンク石川の実 なか「地域・利用者の皆様から必要 し、年金・ローン相談会の開催、 人口の減少、少子・高齢化が進 一方で法人等に

共済事業

経済を表している。
(1) というでは、
の提供を通じて、組合員・利用者のの提供を通じて、組合員・利用者のの提供を通じて、
(2) の総合保障
(3) の総合保障

購買事業

組合員・利用者の皆様のニーズに応えるため、各部署との連携を密にし、生産コスト低減支援による農業し、生産コスト低減支援による農業所得の向上を図るとともに、各種所得の向上を図るとともに、各種供に取組んでまいりました。また、より良いサービス提供に向け各事業より良いサービス提供に向け各事業の技術力向上及び迅速なお客様対応に努めました。

営農指導・販売事業

基幹作物の米については、「うま盛人会」を発足致しました。業経営が継続できる支援を行うた業経営が継続できる支援を行うた

基幹作物の米については、「うま は、「能登米・志賀米」を軸とした 良質米生産に取組んだ結果、集荷実 良質米生産に取組んだ結果、集荷実 良質米生産に取組んだ結果、集荷実 した。また、園芸品目では、気象条 した。また、園芸品目では、気象条 した。また、園芸品目では、気象条 した。また、園芸品目では、気象条 した。また、園芸品目では、気象条

利用事業

や適期播種作業による健苗生産を 要3品種に係る取扱いを行うなか、 スタンドバックフレコン購入助成の 荷受を行うほか、 滑な施設稼働のもと「コシヒカリ」に 266箱の利用実績となりました。 苗」生産にも取組んだ結果、127. はじめ、「コシヒカリ」には「高密度 育苗施設では、 「コシヒカリ」「ひゃくまん穀」 - 志賀米」 「能登米」 「慣行米」の区分 また、共同乾燥調製施設では、円 各利用施設では、 県指導目標量の遵守 大口利用者割引や 「ゆめみづほ」 の主

ついての回答を掲載させていただき

以下に、複数いただいた質問等に

個別回答させていただきました。

なお、回答を希望された方々には、

願いし、書面によるご質問をお受け

いたしました。

から事前説明会を中止するととも ロナウイルスの感染防止対策の観点

書面決議による議決権行使をお

今回の総代会については、

新型コ

結果、主食用米の施設利用量は、1. ともに、良質米の安定生産に努めた 192 t (19,881俵)となりました。

◉特別損失(固定資産処分損及び減 損損失)の計上について

たものです。 際に取り壊したため除却損を計上し コープの解体に伴うものであり、 処分損(除却損)については、旧 実

(単位:千円)

対

実績額

44,808,821

8,279,978

12,430,755

1,625,687

1,312,825

47,663

比

99.8%

97.4%

92.1%

101.3%

97.6%

94.4%

であります。 が下がった分を損失計上する)こと に合わせ帳簿価額を調整する(評価 減損損失とは、資産の実際の価値

ことに伴う強制減損です。 価が帳簿価額の5%以下に下落した 冨来支店が該当し、減損損失を計上 うかを確認した結果、上熊野支店と したものです。 (総代会資料2ページ参照) 上熊野支店については、土地の評 今年度は、減損の兆候があるかど

令和元年度の主な事業実績

金 (平均残高)

共

共

買

売

済

済

品

品

貸付金 (平均残高)

計画額

44,880,000

8,500,000

13,500,000

47,000

1,665,000

1,390,000

項 目

貯

長 期

年 金

購

販

を積立ててあります。 産除去債務として計上し、 スベストについては、平成23年に資 れたものです。また、富来支店のア 定した時点で評価が下がると判断さ 画により、使用しなくなることを決 富来支店については、新築移転計 除去費用

であり、特別損失計上しなければ会 て減損処理しなければならない処理 した時には、費用は発生しません。 去債務計上したので、実際に取り壊 ても同様に当期決算において資産除 これらは、企業会計のルールとし 加えて、今後の解体工事費につい

ることができました。 益においては、当初計画を若干上回 たが、厳しい収益環境ながら経常利 最終的に当期損失計上となりまし

については、目的積立金の取崩しに する効果がある処理です。 より対応し翌期以降に持ち越すもの ではなく、次年度以降の負担を軽減 また、減損損失等による当該損失

◉施設利用の向上対策について

設稼働率の向上を目指します。 継続や、集落営農組織連絡協議会や若 実施している施設利用者割引や大口 利用者割引、フレコン購入助成金等の 手農業者活動組織「盛人会」を通じた施 施設稼働率の向上対策として、

●広域合併について

料を提供する予定です。 和元年度延べ7回の研究会を開催し ており、近々これをまとめた情報資 能登地区広域合併については、 令

●農業者の所得増大に向けた具体的 取組と実績について

主な取組みとしては、

①平成28年産米から「志賀米コシヒ カリ」を設定し、JAが直接米卸 と価格交渉を行っています。 -8年産):1,386円/6kgの増額 仮渡金含む最終精算差額(30年産

計監査人の審査は通りません。

●当期損失について

実績 荷受増減(元年産-27年産): ました。

③30年産米からは懸案事項であった 3,009俵の増加

⑤富来育苗では高密度苗生産を開始 ④新品種のひゃくまん穀水稲苗生産及 致しました。 増減(元年産-3年産):419俵の増加 増減(元年産-30年産):306俵の増加 実績 元年産荷受量:4,662俵、 増減(元年度-30年度):667箱の増加 実績 元年度育苗販売数:1,513箱、 び共乾施設荷受けを開始致しました。 受けを開始致しました。 能登米コシヒカリ」の共乾施設荷 共乾施設元年產荷受量:724俵、

農家所得の向上に努めてまいります。 今後も複合経営の提案など、引続き 増減(元年度-30年度):535箱の増加 実績 元年度育苗販売数:1,855箱、

●持続化給付金について

なっています。 ている農業者(個人・法人)が対象と 特定月の売上げから50%以上減少し - 月以降の特定月の売上げが昨年の 新型コロナウイルスの影響で本年

こととしています。 るため、当JAでは申請支援を行う 申請は原則WEB申請となってい

②土田RCを飼料用米専用として稼 働し、飼料用米の生産拡大を図り

(5)

令和元年度 **貸借対照表** (令和2年3月31日現在)

科目	金額
(資産の部)	
1. 信用事業資産	46,045,370,915
(1) 現 金	164,057,307
(2)預金	34,745,329,905
系統預金	33,893,781,497
系統外預金	851,548,408
(3) 有価証券	3,456,760,000
国債	1,748,100,000
地方債	695,650,000
社債	1,013,010,000
(4) 貸出金	7,696,112,786
(5) その他の信用事業資産	42,042,782
未収収益	32,404,856
その他の資産	9,637,926
(6) 貸倒引当金	▲ 58,931,865
2. 共済事業資産	1,763,555
(1) その他の共済事業資産	1,763,555
3. 経済事業資産	517,848,930
(1) 受取手形	1,536,246
(2) 経済事業未収金	374,367,370
(3)経済受託債権	58,351,683
(4)棚卸資産	92,779,540
購買品	56,770,609
その他の棚卸資産	36,008,931
(5) その他の経済事業資産	12,623,785
(6)貸倒引当金	▲ 21,809,694
4. 雜資産	136,343,224
5. 固定資産	750,146,104
(1) 有形固定資産	749,218,155
建物	2,191,492,590
機械装置	574,604,148
土地	141,696,479
その他の有形固定資産	376,589,045
減価償却累計額	▲ 2,535,164,107
(2)無形固定資産	927,949
その他の無形固定資産	927,949
6. 外部出資	2,196,932,800
(1) 外部出資	2,196,932,800
系統出資	2,054,772,000
系統外出資	92,260,800
子会社等出資	49,900,000
資産の部合計	49,648,405,528

単体自己資本比率 25.56%

(単位:円)

	(単位:円)
科目	金 額
(負債の部)	
1. 信用事業負債	44,301,666,138
(1) 貯 金	44,239,203,796
(2) その他の信用事業負債	62,462,342
未払費用	7,570,648
その他の負債	54,891,694
2. 共済事業負債	232,961,839
(1) 共済資金	142,668,809
(2) 未経過共済付加収入	87,146,079
(3) 共済未払費用	1,725,871
(4) その他の共済事業負債	1,421,080
3. 経済事業負債	239,583,513
(1) 経済事業未払金	157,262,331
(2) 経済受託債務	78,917,230
(3) その他の経済事業負債	3,403,952
4. 雑負債	202,388,354
(1) 未払法人税等	536,500
(2) 資産除去債務	75,800,000
(3) その他の負債	126,051,854
5. 諸引当金	243,690,224
(1) 賞与引当金	11,365,726
(2) 退職給付引当金	216,149,415
(3)役員退職慰労引当金	15,935,705
(4) ポイント引当金	239,378
6. 繰延税金負債	40,652,475
負債の部合計	45,260,942,543
(純資産の部)	
1. 組合員資本	4,053,025,688
(1)出資金	906,697,000
(2) 利益剰余金	3,156,050,688
利益準備金	1,057,949,698
その他利益剰余金	2,098,100,990
リスク管理積立金	662,640,172
農業経営基盤積立金	145,000,000
施設整備積立金	324,000,000
税効果積立金	87,223,327
特別積立金	500,913,815
当期未処分剰余金	378,323,676
(うち当期損失金)	51,441,163
(3) 処分未済持分	▲ 9,722,000
2. 評価·換算差額等	334,437,297
(1) その他有価証券評価差額金	334,437,297
純資産の部合計	4,387,462,985
負債及び純資産の部合計	49,648,405,528

組合員数

-	資格区分	期首	当期増加	当期減少	期末	増減
	正組合員	3,751	37	116	3,672	▲ 79
	准組合員	1,936	46	38	1,944	8
	計	5.687	83	154	5.616	▲ 71

出資口数

山兵中 数 (単位: 山)					
資格区分	期 首	期 末	増減		
正組合員	804,989	791,841	▲ 13,148		
准組合員	102,774	105,134	2,360		
処分未済持分	7,828	9,722	1,894		
計	915,591	906,697	▲ 8,894		

出資1口金額 1,000円 払込済出資総額 906,697,000円

令和元年度 損益計算書 (平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位:円)

科目		金額	
1. 事業総利益			923,903,978
事業収益		2,683,078,858	
事業費用		1,759,174,880	
(1) 信用事業収益		373,652,408	
資金運用収益	317,617,966	070,002,100	
(うち預金利息)	(138,052,136)		
(うち有価証券利息)	(52,031,245)		
(うち貸出金利息)	(80,511,550)		
(うちその他受入利息)	(47,023,035)		
役務取引等収益	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
	11,090,087		
その他事業直接収益	31,631,583		
その他経常収益	13,312,772	0.000,000	
(2) 信用事業費用	10 107 540	36,303,329	
資金調達費用	12,127,548		
(うち貯金利息)	(11,085,590)		
(うち給付補填備金繰入)	(728,502)		
(うちその他支払利息)	(313,456)		
役務取引等費用	5,133,355		
その他経常費用	19,042,426		
(うち貸倒引当金戻入益)	(1 5,967,269)		
信用事業総利益			337,349,079
(3) 共済事業収益		296,560,772	
共済付加収入	275,872,934		
その他の収益	20,687,838		
(4) 共済事業費用		18,015,801	
共済推進費	5,447,406		
その他の費用	12,568,395		
共済事業総利益			278,544,971
(5) 購買事業収益		1,692,549,117	
購買品供給高	1,625,687,467		
修理サービス料	45,633,570		
その他の収益	21,228,080		
(6) 購買事業費用		1,494,736,569	
購買品供給原価	1,406,553,738		
購買供給費	26,230,564		
その他の費用	61,952,267		
(うち貸倒引当金繰入額)	(2,175,656)		
購買事業総利益	, , , , , , , , ,		197,812,548
(7) 販売事業収益		72,369,844	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
販売品販売高	2,310,568	. =,= 00,0 11	
販売手数料	58,024,204		
その他の収益	12,035,072		
(8) 販売事業費用	12,000,012	16,632,535	
販売品販売原価	1,651,328	10,002,000	
販売費	8,442,747		
その他の費用	6,538,460		
販売事業総利益	0,000,400		55,737,309
(9) 保管事業収益		10 388 166	33,131,309
		10,388,166	
(10) 保管事業費用		8,963,154	1 425 012
保管事業総利益			1,425,012

科目	金	額
(11) 加工事業収益	4,375,757	
(12) 加工事業費用	1,556,394	
加工事業総利益		2,819,363
(13) 利用事業収益	162,318,186	
(14) 利用事業費用	105,875,842	
利用事業総利益		56,442,344
(15) 葬祭事業収益	47,153,742	
(16) 葬祭事業費用	41,083,225	
葬祭事業総利益		6,070,517
(17) 福祉事業収益	31,765,925	
(18) 福祉事業費用	32,003,165	
福祉事業総損失		▲ 237,240
(19) その他事業収益	5,076	
(20) その他事業費用	17,984	
その他事業総損失		▲ 12,908
(21) 指導事業収入	1,077,840	
(22)指導事業支出	13,124,857	
指導事業収支差額		▲ 12,047,017
2. 事業管理費		901,263,893
(1) 人件費	658,323,057	
(2) 業務費	91,038,181	
(3)諸税負担金	18,395,824	
(4)施設費	131,773,772	
(5) その他事業管理費	1,733,059	
事業利益		22,640,085
3. 事業外収益		33,101,277
(1) 受取雑利息	691,359	
(2) 受取出資配当金	27,174,693	
(3) 賃貸料	1,071,066	
(4) 雑収入	4,164,159	27.000
4. 事業外費用	2= 222	67,000
(1) 寄付金	67,000	
経常利益		55,674,362
5. 特別利益	11.101.010	43,671,643
(1) 低温倉庫罹災に係る共済金	11,121,643	
(2) 一般補助金	32,550,000	145 000 000
6. 特別損失	05 500 606	145,203,888
(1) 固定資産処分損	25,533,606	
(2) 固定資産圧縮損	32,550,000	
(3)減損損失	87,120,282	4E 0E7 000
税引前当期損失	E26 E00	45,857,883
法人税、住民税及び事業税	536,500	
法人税等調整額	5,046,780	5 502 200
法人税等合計 当期損失金		5,583,280 51,441,163
当期首繰越剰余金		337,597,777
リスク積立金取崩額		87,120,282
税効果積立金取崩額		5,046,780
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		378,323,676
		2/23/30/0/

剰余金処分

(単位:円)

(科目	金額
	1. 当期未処分剰余金	378,323,676
	2. 剰余金処分額	58,799,621
	(1) 利益準備金	15,000,000
	(2) 任意積立金	35,000,000
	リスク管理積立金	35,000,000
	(3) 出資配当金	8,799,621
(3. 次期繰越剰余金	319,524,055

- 1. 出資配当は年1.0%の割合である。
- 2. 次期繰越剰余金には、営農指導、生活・ 文化改善事業の費用に充てるための繰越額 2,000,000円が含まれている。

^{令和2年度} 事業計画

令和2年4月1日から 令和3年3月31日まで

基本方針

◆ 経営基本方針 ◆

第5次中期3か年計画の2年目として引き続き、組合員・利用者の皆様のニーズに応えるべく、行政等関係機関との連携のもと、次の事項を基本目標として、経営の安定性や成長性を確保し、地域に貢献できる JA を目指します。

◆ 基本目標 ◆

- ①「農業者の所得増大」と「農業生産の拡大」の実現
- ② 協同活動による組織基盤の強化と地域の 活性化
- ③ 経営基盤の強化

◆ 重点実施事項 ◆

- ① 組織基盤・経営基盤の強化
 - ② 活気ある職場づくり
- ③ 地域に根ざしたJAづくり

主要事業目標

(単位:千円)

項目	計画額
貯 金 (平均残高)	44,700,000
貸出金 (平均残高)	7,518,000
長期共済新契約高	11,970,000
年金共済新契約高	55,000
購買事業取扱高	1,650,000
販売事業取扱高	1,395,000

損益計画

(単位:千円)

項目	計画額
事業総利益	877,534
事業管理費	866,642
事業利益	10,892
経常利益	46,817
税引前当期利益	43,817
当期剰余金	30,317

施設整備計画

(単位:千円)

施 設 名	資産種類	内 容	事業費
志賀町低温自動ラック倉庫	機械装置	空調機器更新	40,000
志賀町カントリーエレベーター	機械装置	トラックスケール設備更新	19,000
本店	建物・ 構築物他	改修・周辺整備 (店舗統合対応)	120,000

各事業計画 重点実施事項

信 用 事 業

①農業者の所得向上と地域活性化支援 よるJA総合事業機能発揮 農業者の要望認識と事業間連携に

②貸出の強化

(3)ライフプランサポートの実践 案型推進の徹底に向けた人材育成と 現による貸出強化 と人材育成・担当者の適正配置の実 推進体制整備 利用者のライフプランに合った提 商品拡充・JAネットローン活用

(4)組合員・利用者接点の再構築 性と採算性・生産性を踏まえた店舗 ATM再編計画の策定・実践 非対面チャネルの利用促進と利便

(5)内部管理態勢・健全性確保 金融機関標準の内部管理態勢の確

共済事 業

①三大疾病をはじめとする生活習慣 の新設 病を保障する「特定重度疾病共済」

②加入手続きの利便性を高めるため に、死亡保障の告知書扱限度の引

> ③近年の農家・組合員の高齢化の進 の範囲拡大を実施 指定代理人請求特約の指定代理人 展や同性パートナーのような新し い家族のかたちに対応するため

⑤コンプライアンス態勢の徹底 ⑷その他所要の変更を実施

②農家戸配送業務委託による配送セ (5)集落営農組織・大規模農家への更 (4)人材育成・技術力向上の強化 ③大規模農家に対応したコスト低減 ⑴地域に応じた資材(肥料等)の提供 なる推進・提案強化 資材(大型規格農薬等)の提案 ンターの物流合理化の実施

○配送センター

効率的な配送を行います。 取扱増と適正な在庫管理を実施し、 営農部門と連携を密にし予約購買

○給油所

化し選ばれる給油所を目指します。 できるよう日々サービスの向上を強 組合員・利用者のニーズにお応え

○農機センター

員皆様に信頼されるセンターを目指 人材育成・技術向上を図り、組合

> 機、ICT等への対応強化に取組み します。また、低価格農機、中古農

○自動車事業

ビスの向上に努めます。 体制強化を図ります。また、技術・サー 低価格での営農用車両の提供等の推進 組合員・利用者の要望に応える為、

指導事業・販売事業

①集落営農組織との連携を強化する 化に努めます。 とともに、若手農業者への育成・ 支援を図り、管内農業基盤の安定

(2)農家組合員への情報提供をはじ 制の充実を図ります。 など人材育成に努め、営農指導体 め、ニーズに応える提案や相談活 指導員の資格取得やスキルアップ 動の強化を図ります。また、営農

③「志賀米」「能登米」コシヒカリは 努めます。 引続きJA自らが米卸と価格交渉 大に取組み、生産者の所得向上に を行い販売するとともに、販路拡

(4)関係機関と連携した現地指導の強 めます。 全・安心な農産物生産と販売に努 得や栽培履歴記帳の徹底など、安 化を図るとともに、GAP認証取

利 用 事 業

○育苗センター

主食用品種では、県指導目標量の 遵守や適期播種作業による健苗生 産に努めます。

本年度新たな播種同時薬剤を選定 g/箱)

(*県指導乾燥籾重量目標:約120

し、本田での作業労力軽減を図る コスト・省力技術対応に取組みま とともに、高密度苗生産など、低

○共同乾燥調製施設(カントリーエ

・主力品種のコシヒカリでは、 努めます。 レベーター・ライスセンター) 荷受による有利販売や、「ゆめみ 賀米」「能登米」「慣行米」の区分 分散対応など、農家所得の向上に づほ」「ひゃくまん穀」による作期

大口利用者割引の設定やスタンド 施し、利用率向上に努めます。 バックフレコン購入助成を継続実

福祉 事 業

援してまいります。 これからも高齢者の方々の生活を支 で安心して暮らしていただけるよう、 台員や地域の皆さまに喜ばれ、地域 ~やさしさと安心、をモットーに組



■石川県農業協同組合中央会から永年勤続30年表彰として3名が表彰されました。

細川 美津恵(加茂支店) 泉 美紀子(加茂支店) 上嶋 都夫(農機自燃課)

■全国農業協同組合連合会石川県本部によるコンテストで1事業所、2名が受賞しました。

JA農機整備コンテスト 敢闘賞 (農機センター 白山 秀和 センター長) JA農機セールスコンテスト 優秀賞 (農機センター 河野 辰夫) JA農機整備コンテスト 殊勲賞 (農機センター 河野 辰夫)

石川県JA - SSチェーン会 美化巡回審査 優秀賞 (堤谷 聖毅 所長)



左から堤谷所長、河野さん、白山センター長

各種草刈機 実演会が開催されました。

令和2年7月2日(木)、志賀町西山の柿圃場、下甘田地区上棚地内にて、ころ柿部会、 集落営農組織連絡協議会、盛人会を主な対象とした草刈機の実演会が開催されました。 小雨のぱらつくあいにくの天候でしたが、56名の方が参加されました。

熱中症の恐れのある屋外での除草作業の負担軽減を目的として、ラジコン草刈機や自走 式草刈機、トラクター取付型草刈機等を実際に動かし、メーカーからの説明を受けました。 皆さん大変興味を持たれていた様子で、真剣な面持ちで説明に耳を傾け、また、実機に よる作業を体験されていました。





自律型ロボット草刈機



ラジコン草刈機の実演の様子

富来支店・志賀農機センター新築工事地鎮祭の様子



2月18日 富来支店新築工事 (令和2年10月完成予定)



5月18日 志賀農機センター新築工事 (令和2年11月完成予定)



^{令和2年}6月15日(月)~8月31日(月)



(C)よりぞう

取組期間1年のお取引のみ

さらに!

日頃の感謝の気持ちをロールに込めて

トイレットペーパー プレゼント!

※無くなりしだい終了いたします。

店頭表示金利の

倍



- *満期日以降の利息は、解約または継続日における店頭金利となります。
- *お利息に 20.315% (国税 15.315% 地方税 5%) の分離課税がかかります。
- *中途解約をされた場合は、当 JA 所定の中途解約り率を適用致します。
- *市場金利及び経済状況により予告なく内容が変更となる場合があります。

詳しくは、お近くの JA 志賀の窓口へお問い合わせください

本店業務課 ☎ 32-1160 加茂支店 🕾 36-1211 中甘田支店 ☎ 32-0205 上熊野支店 ☎38-1231 富来支店 🔯 42-2111 下甘田支店 ☎36-1131 土田支店 ☎ 37-1111 志加浦支店 ☎ 32-0342

ご利用レシートを集めで応募!!抽選で豪華賞品をブ

レシート 有効期間 **7月23日**(木)~**9月22日**(火)



応募 締切 **9月30**日(水)



能登牛焼肉セット

(5,000円相当)



外れた方の中から抽選で ハチャンス賞 JA商品券 (1,000円分)

【応募方法】

)30ℓ分_{もしくは、}給油以外の商品

のレシートを専用封筒に入れ、A・Bいずれかの

ースを選択の上、店内の応募箱もしくは郵送でご応募下さい。



ン・JA資材店舗等でのご利用レ **週50名様**にJA-SSで使える**10L給油券**をプレゼント!!

※詳しくはJA全農のホームページでご確認下さい。

◇ JAグループ石川